

今後の利用促進の取組について

人口減少や公共交通を支える担い手不足に加え、新型コロナウイルスによる生活スタイルの変容等により、公共交通の経営状況が厳しさを増す中、地域全体の路線・ダイヤを維持することが困難になっている。

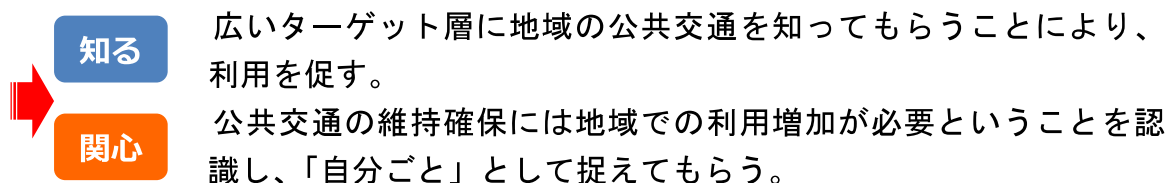
こうした中で公共交通を維持確保していくためには、利用促進が欠かせない。これまでからの地域による各路線に特化した取組に加えて、行政・交通事業者・地域住民が連携して、地域全体で公共交通の利用増につながる取組を行うことが有効である。

1 今年度の取組

各地域の取組を山科地域全体に広げ、山科地域全体の利用促進を図る取組を実施する。

○ 市民しんぶん（区版）での各地域の取組の紹介

各地域での利用促進の取組を市民しんぶん（区版）や区公式アプリ「やましなプラス」で紹介し、山科地域の皆様に公共交通への関心を持っていただく。同時に、取組を行っている地域でも改めてその重要性を認識していただくことで、各地域の利用促進をさらに推し進め、利用者の増加、さらには生活交通の維持・確保を図る（別紙参照）。



2 今後の取組（案）

公共交通及びその利用促進の取組を知ってもらったうえで、実際に利用してもらうきっかけづくりを進める。

○ あらゆる機会を捉えた公共交通を利用してもらうきっかけづくり

区役所の来庁時や、地域のイベント、商業施設等において、公共交通利用の動機づけ情報（クルマ利用と健康、環境問題、経済負担）を掲載したチラシを配布する。

○ 子ども・子育て世代への働きかけ

区役所や学校等で、子どもや子育て世代に対し、公共交通の乗り方やベビーカーでのバス乗車方法の紹介等の働きかけを行う。

⇒ 公共交通で便利かつお得に移動できることを知ってもらい、また、公共交通の利用に対する不安を解消することで、新たな利用者を発掘する。

素案

(イメージ①)

地域の足を守っていくため、地域の皆様が取り組まれている活動を紹介します！

○鏡山循環バス（鏡山学区）

鏡山学区では、京阪バスの鏡山循環バスの利用促進に取り組まれています。

これまで、のぼり・啓発看板の設置、バス利用者数の調査、鏡山小学校での総合学習・体験乗車等の活動を展開され、...

写真

○くろり山科・特80系統

（西野・山階南学区）

西野・山階南学区では...

写真

○小金塚地域循環ボランティアバス

（小金塚地域）

小金塚地域では...

写真

地域の大切な資源である公共交通を維持していくためには、区民の皆さん一人ひとりが、公共交通を利用することが大切です。

普段のお出かけから、バス・鉄道に乗る機会を増やしてみませんか。

公共交通を利用して出かけると...

健康にいい

環境にやさしい

経済的

なによりお出かけ
がもっと楽しく！

(イメージ②)

公共交通を使うことで 見えてくるものがあります

それは
健康的な暮らし

それは
SDG s

それは
クルマとは
違う景色

それは
地域の足を
担う人

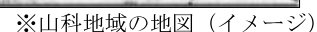
それは
山科地域の魅力

普段のお出かけで公共交通を使ってください

えっ！ 公共交通で行けるの！？

**山科区内に 鉄道駅は 9 駅
バス停はなんと 80 か所以上！**

山科駅 ←————→ 京都橘大学
京阪バスで16分



「クルマに頼りすぎない暮らし」を考えましょう

説明・データ記載

説明・データ記載

説明・データ記載

(イメージ⑤)

ベビーカーにお子様を乗せたままバスに乗ることが可能です！

乗り方説明（イラストや写真を交えて）

※ノンステップバスおよびワンステップバスは、ベビーカーを開いたままで、ご乗車いただけます。車いすご利用の方が乗車の場合、車内が混雑している場合、固定台数を超えた場合など、乗務員がベビーカーを開いたままで乗車するのが困難と判断した場合は、ベビーカーを折りたたんでのご乗車をお願いいたします。